

広報吉野ヶ里

YOSHINOOGARI TOWN MAGAZINE

9

2006 SEPTEMBER
No.007



【特集】2-9

ふれあい交流写真館

event-1 子どもたちのふれあい 2-3

event-2 地域の自然や歴史とのふれあい 4-5

event-3 「夏」ふれあい祭り・昼の部 6-7

event-4 「夏」ふれあい祭り・夜の部 8-9

●TOPICS・まちのわだい● 10-11

20周年記念にロータリー文庫寄贈ほか

●文化サークル紹介● 12-13

●第1回吉野ヶ里町敬老会のご案内● 14

●INFORMATION・お知らせ● 15-16

●吉野ヶ里文芸● 17

●保健・健康・カレンダー● 18-19

●シリーズ・一期一会● 20

一生一度の花で最期を飾る

7月号で紹介した下豆田地区の竜舌蘭が7月下旬、ついに花開いた。花芽は空に向かって伸び、松に似た枝先には、親指くらいのつぼみが数え切れず、飛び出している黄色い雄しべが、大きな体とは不釣り合いなほど控え目に、咲いていることを伝えていた。

花の時期はおよそ2週間。もはや見ることはできない。しかし、今回開花した隣には、一緒に植えた別の一株があり、最も輝くその時を静かに待っている。

もしも葉っぱが枯れ始めたなら、それは開花の兆し。竜舌蘭はこのとき、一生かけて蓄えた栄養分を根元へと集め、最期の準備を始めているのだ。

昔

から結びつきが強かった旧東脊振村と旧三田川町。ともに田手川から田畑に水を引き、その恵みを生きる糧としていた。また、江戸時代には夏場の水不足を補うため、双方の公役により「蛤水道」を建設、その後も協働で守り続けた。このような深い縁（えに）は時代を超えて受け継がれ、ついに平成の大合併を機に、二つは一つとなった。

吉野ヶ里町を地図で見ると、東西5・1km、南北16・4kmと細長く、ちょうど吉野ヶ里遺跡出土の有柄（ゆうへい）銅刻の形に似ている。地形は北に山々、南には平野

ふれあい 交流 写真館

が広がる。このため北と南では気候なども異なり、それぞれに培ってきた歴史や伝統は、人々の暮らしの中で、今なおしっかりと息づいている。

このようなことから合併後の重要な課題の一つに、町民同士の相互理解と融和があり、町ではさまざまな催しなどを実施、子どもからお年寄りまで、楽しくふれあい・交流できる機会を作っている。

ここでは、その中のいくつかの催しを追いかけて、撮影した写真を中心に紹介する。

event 1

子どもたちの ふれあい

三田川小学校と東脊振小学校。一つの町となった子ども同士が出会い、友情を育むきっかけづくりとして「夏休み子ども交流キャンプ大会」が8月1日・2日、トムソーヤの森キャンプ場で開かれ、5・6年生の児童31人（三小13人、東小18人）が参加、両校混ざって班編成を行い、大きな自然のふところの中、共同生活やレクリエーションなどを楽しんだ。



西 有紀恵さん
(三小6年)

交流キャンプで東脊振の人たちと会えてよかった。これからは、一緒に遊ぶのもいいし、仲良くなりたい。最初は少し話しづかったけど、こんなに仲良くなれるとは思わなかった。

山崎結美さん(三小6年)

東脊振の5・6年生と一緒にだったので仲良くなれた。友達になれたかな？少し心配だった。でもいろいろやっているうちに、いろいろな人から声をかけられ仲良くなった。これからは遊んだり、手紙を交換したりしてもいいかな。

中村 楓さん(東小5年)

初めて来た時は戸惑っていたけど、声かけたら三田川の人にも優しくしてくれたので、楽しかった。

正島蓮香さん
(東小5年)

今日はキャンプの最終日、お別れはさみしい。だけど、住所とか電話番号を覚えてもらったから、これからも絶対一生友達なんだ。次も今年中にあってほしい。あったら絶対行く。

123 朝食で火の番をした男子の喜怒哀楽。「あち」「けむい」「出来た」

4 味噌汁の具を刻む。キャンプは要領より体験だ。

5 太い孟宗竹を二つに割り、節を除けば流しそうめんの樋（とい）ができた。

67 一本の竹から自分が使う箸と器を作る。すべてが世界で一つだけのもの。

8 友だちと向き合いながら、冷たいそうめんをすする。

9 パーベキューする父親を見ているという男子はサービス精神旺盛。

1011 自然の冷蔵庫で冷やしたスイカを「えい」「や〜」。

event 2 地域の自然や 歴史との ふれあい

蛤水道

元和年間（1615～1623年）、蛤岳から小川内を経て福岡市に流れる大野川の水を田手川に流すため、井出（ため池）と全長約1260mにおよぶ水路を造り、田手川の灌漑用水とした。この水路が蛤水道で、鍋島藩の重臣、成富兵庫茂安による工事であると伝えられている。

江戸時代は毎年春に公役を起こし修理を行っていたが、明治21年・昭和27年の全面改修により、現在ではコンクリートの水路となっている。

五ヶ山ダム建設や東脊振トンネルの開通などにより、今あらためて注目を集めている町内北端の小川内地区。この地の史跡をバスで巡り、歴史や自然などに触れる「ふるさと探訪」が8月5日、午前と午後に分けて行われ、およそ160人が参加。町文化財係の説明に耳を傾けながら、珍しい史跡や自然の風景などを目の奥に焼き付けていた。

この事業は当初、午前の部だけが計画されていたが、応募者多数のため、急きょ午後の部を追加。それでもなお希望する声に対応することができず9月2日、同様に2回目を実施することになった。



伝説ではその昔、御嶽（※現在の脊振山）の僧が、身の回りの世話をする女性を嶽の屋敷に住まわせたが、そのため借金が増え、この地を肥前国に売ったと伝えられている。

また、黒田家文書「脊振山嶽の屋敷売

嶽(竹)の 屋敷跡



嶽の屋敷跡には江戸時代、藩命により屋敷に移り住んだ大石氏の供養塔が残っている。

国境石



肥前領と筑前領の国境石。表面には「この石垣に触るな 筑前国五箇山村」と刻まれている。



道路から谷川の国境石を見下ろす一行。この位置からの確認は難しかった。

山祇神社と 小川内の杉

山祇（やまずみ）神社は大山祇尊（おおやまずみのみこと）を祭神とし、明治4年の社格決定の際、「村社」に指定。境内の杉は御神木として祀られており、大小3株の杉が根元で癒着、別名「夫婦杉」と呼ばれている。高さ39m、根回り13.5m、推定樹齢700～800年の小川内の杉は昭和31年、県の天然記念物にも指定されている。

また、「神社の石段が35段であるため、小川内は35戸以上には増えない」という神社にまつわる言い伝えも興味深い。



35段の急な石段を上りきると、すぐ左手に小川内の杉が現れる。

さざんか 千坊館



ふるさと探訪の最終見学地、さざんか千坊館は8月1日にオープンしたばかり。この日も多くの買い物客が訪れ、湧水の汲み取り場にもぎわっていた。



1 はじめての人がほとんどで、バスを降りるやいなや、佐賀平野に浮かぶように建つ真新しい施設に興味津々。
2 農産物・加工品コーナーでは、7月号で紹介した米西茶も売られていた。
3 4 5 千坊館からの眺望を楽しむ。

1 東脊振トンネルを抜けると、五ヶ山ダムの建設現場が広がり、参加者からは「あ〜」という声ももれた。
2 バスから普通車に乗り換え、蛤水道入口へと向かう。途中の林道是一般車両の乗り入れが禁止されているため、個人で行く場合には、徒歩で登るしかない。
3 4 5 町文化財係の説明の後、成富兵庫水功碑までのおよそ1.3kmを水路沿いに徒歩。午前の部はひんやりと気持ちいい山の空気に包まれ、遠足気分が世間話と笑顔が絶えなかった。
6 7 途中数箇所に設けられた「乗（野）越」。余分な水が大野川（那珂川の支流）に落とし、水の勢いを弱めて水路を守る仕組みだ。
8 目の前が開け、井出（ため池）の跡に到着。現在は草木で覆われ、コンクリート製の水路が整備されている。
9 成富兵庫茂安の水功碑。参加者の中には、手を合わせて感謝する姿も見受けられた。
10 那珂川の支流で小川内を流れる大野川の出発点。

女性浮き輪リレー

人を乗せた浮輪をロープで引っ張り、スピードを競う女性浮輪リレー。



釣り堀

釣り堀にはニジマスがウヨウヨ。おもしろいように釣れ、釣った魚は焼いて食べることもできた。



ニジマスつかみ取り

メイン会場内に800匹のニジマスを放流、つかみ取りが行われた。



発泡スチロール八艘飛び

発泡スチロール八艘飛び。スイカをかけて8個の発泡スチロール板に挑むも残念ながら成功者なし。最高は4個だった。



サッカー・ワールドカップ

川に浮かべた5個の浮輪めがけてキック。



ふれあい
交流
写真館

event 3 「夏」 ふれあい祭り 昼の部

第1回吉野ヶ里町「夏ふれあい祭り」が8月6日、昼夜2部構成で行われ、昼の部は東脊振中学校北側の田手川親水公園、夜の部は目達原駐屯地で開催。

昼の部では、学校橋の下流を大人の膝丈くらいの水深で、釣り堀とメイン会場に区分。メイン会場では発泡スチロール八艘飛びや浮輪リレー、水中バレーなど、水と親しむさまざまなイベントが繰り広げられ、きらきらと輝く水しぶきとともに黄色い歓声が沸き上がった。



東脊振中学校吹奏楽部の演奏で開幕。

水中バレー





吉野ヶ里保育園児によるちびっ子赤熊太鼓。



夕立のため1時間ほど遅れて開幕。陸上自衛隊音楽隊による演奏が始まった。

夜の部は目達原駐屯地との共同開催で、会場設営や駐車場整理、模擬売店など多くの隊員が参画。予期せぬ夕立後のグラウンド整備にもすぐさま対応。このため、開始時刻は1時間程度の遅れに止まり、心配された来場者数も1万5000人と、昨年を3000人ほど上回った。

出し物では、合併を記念して人気タレント「テツ&トモ」が出演。おなじみの「何でだろ」のフレーズと振り付けが始まると、舞台周りには観客がひしめき合い、笑いはまさに渦と化した。

ふれあい
交流
写真館

event 4 「夏」 ふれあい祭り 夜の部



祭りには欠かせない地元芸能、パンプーオーケストラと赤熊太鼓の演奏。



町内の幼稚園・保育園児による子ども盆踊り。踊りの輪の周りには、カメラを構えた保護者の輪。



テツ&トモ

人気タレント「テツ&トモ」が登場すると会場全体が沸き上がり、気が付くと舞台の周りには、観客でいっぱい。祭りのムードは最高潮に達した。



自衛官も踊りの輪に加わり、見よう見まねで吉野ヶ里音頭と炭坑節を踊った。



夕立後の蒸し暑さのため、かき氷が飛ぶように売れる(商工会青年部)



自衛官の模擬売店の中に、懐かしい金魚すくいを見つけた。

好きな絵を自由に描いて

「ちびっ子お絵描き教室」が8月7日から11日まで、農村環境改善センターで行われ、東脊振小学校の児童18人が参加。吉野ヶ里保育園などで絵を教えている舟一朝さん（現代美術造形作家、佐賀市）の指導のもと、自分たちで見つけてきた題材を自由に描いたほか、県立美術館にも足を運び、絵画を鑑賞しました。また、最終日にはカンバスに向かって油絵の自画像に挑戦。舟さんは、伸び伸びと描く子どもたちの姿を見ながら、色の使い方などをアドバイスしていました。



油絵の具を使って自画像を描く子どもたち。

パドルを手に水面をスイスイ。



水面をすべるように

町内の小学生を対象にした「ちびっ子カヌー教室」が8月7日から11日まで、日の隈公園近くの日の尺池で行われ、4年生から6年生までの児童12人が参加。B&G海洋センターのインストラクターから、乗り降りやパドル操作などの基本を学んだ後、一人乗りカヌーに乗舟。ほとんどが初体験のため、始めは恐る恐る漕いだり、転覆したりする場面もありましたが、次第に操作にも慣れ、やがて水面を滑るように乗りこなしていました。



放水開始後すぐさまに命中。会場から歓声が上がりました。

全力を尽くした姿に感動

第28回県消防操法大会が7月30日、佐賀空港多目的広場で開催され、吉野ヶ里町消防団選抜チームが、小型動力ポンプ操法の部に出場しました。当日は35度近くまで気温が上昇。立っているだけでも辛い過酷な条件でしたが、2か月の猛特訓を乗り越えてきた選手たちは、競技終了まで緊張を保ち、俊敏な動きと堂々とした姿勢で全力を尽くしました。結果として入賞こそできなかったものの、会場からは称賛の拍手。選手・応援団とも感極まる場面もありました。

吉野ヶ里町消防団選抜チームの選手は次のとおりです（敬称略）。加々良隆弘（本部）中島正博（南1-1）貝野昭彦（南2-2）西原申也（南3-2）野口政敏（南4-2）小林弘幸（北1-1）北島功一（北2-4）平野敏輝（北3-2）多良優（北4-2）

読者からの手紙

私は昭和16年、長崎三菱兵器製作所に入社、昭和20年原爆投下の前日まで勤務しておりました。今日8月9日は、61回目の原爆の日で、あの時のことをふと思い出してペンを執りました。私は帰省先の佐賀で原爆のことを知り、1週間後長崎へ戻りました。長崎県庁から浦上、道尾まで、家という家はすべて焼け、つい数日前とはまるで変わっていました。多くの人々、私の友だちも皆亡くなりました。今の長崎には原爆投下時の面影はありませんが、訪れると胸が痛みます。原爆の恐ろしさ…、このようなことが今後2度とあってはなりません。戦争はしてはなりません。原爆の日を迎え、辛かった思い出が蘇り、今の思いを一筆書かせていただきました。

下豆田 伊東久男



神崎市、吉野ヶ里町、上峰町の事業者からなる神埼ロータリークラブ（山崎清二会長）が創立20周年を迎え、記念事業として3市町内の中学校に「ロータリー文庫」を寄贈しました。

同クラブは、普段から青少年健全育成活動に取り組み、文庫の寄贈も子どもたちとつながりが持てればと実施。図書の内容も難しい本より親しみやすいものとし、生徒数に応じて三田川中学校には35万円、東脊振中学校には30万円相当を贈りました。

三田川中学校西岡政廣校長に目録の贈呈（7月25日）

地区対抗婦人ソフトバレーボール 立野Bが初代チャンピオンに

地区対抗婦人ソフトバレーボール大会が7月30日、三田川小学校体育館で行われ、17チームが参加、5つのブロックに分かれて予選リーグを戦い、下豆田、下三津西A、川原団地A、立野A、立野B、吉田Aが決勝トーナメントへ進出。旧三田川町で昨年優勝の下豆田、一昨年優勝・準優勝を独占した立野、旧東脊振村で昨年優勝の下三津西は、すべてストレート勝ちでした。

ところが、決勝トーナメント第1試合で波乱。下三津西Aが川原団地Aにストレートで敗れました。勢いづいた川原団地Aは、下豆田も接戦の末2-1で下し、ついに決勝へ進出。一方で決勝進出を決めたのが立野B。予選に引き続き、立野A・吉田Aとともにストレートで破りました。

チームの勢いは勝敗を大きく左右するもの。このため、予選から接戦を制してきた川原団地Aがやや有利か？とも思われましたが、結果は立野Bのストレート勝ち。圧倒的な強さを見せつけ、初代チャンピオンに輝きました。

学校に防犯機材を寄贈

県環境整備事業協働組合から町内の小中学校に7月20日、防犯機材「ネットランチャー」3台が寄贈されました。機材は懐中電灯ほどの大きさで、手元のスイッチを押すと3m四方に網を発射。万一のとき、不審者の捕獲に役立つと期待されています。



県環境整備事業協働組合から教育長に渡される「ネットランチャー」

20周年記念に ロータリー文庫を寄贈



上＝圧倒的な強さで初代チャンピオンとなった立野B
下＝相次ぐ強豪を破り準優勝した川原団地A

ハ〜イ・エブリバディ！

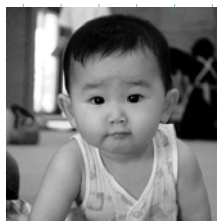
初めまして。私はティナ・チャオ。吉野ヶ里町の新しいALT（外国語指導助手）です。カリフォルニア・サンホセの出身で、10年以上暮らしています。大学はカリフォルニア州立大学デイビス校で、国際関係と日本語を専攻、6月に卒業したばかりです。日本語は4年ほど勉強しました。

吉野ヶ里町では皆さんとてもいい人で、ここに来て本当に良かったと思っています。将来やりたいことはまだ決まっていませんが、吉野ヶ里町に滞在中、日本語が上達すればいいですね。皆さん、よろしくお願いします。



8月から三田川中学校のALT（外国語指導助手）として赴任したティナ・チャオさん（カリフォルニア・サンホセ出身）

すくすく育ってね②



写真は8月8日（火）の乳児健診（きらら館）で撮影したものです。この日の対象者は、平成18年1月と4月生まれの赤ちゃんでした。もし「うちの子だ！」と気が付いたら、次のアドレスあてメールしてください。写真データ（2MBくらい）を添付して返信します。携帯電話へもデータを圧縮して送ることができます。
●吉野ヶ里町役場総務課アドレス
soumu@town.yoshinogari.lg.jp

CIRCLE⑩ ちぎり絵(老人クラブ)



ちぎり絵は和紙を裂いて作る手芸です。作業は指先を使いますので、ボケ防止にもなります。皆さん加入しませんか？

【練習日】第2・第4火曜日 【時間】9時～12時
【会場】ふれあい館 【対象】老人クラブ会員
【TEL】53-3447(中原)

CIRCLE⑪ ちぎり絵



童心に返って自由に和紙をちぎり、手を動かしながら完成の喜びもあります。また、体のリフレッシュにもなりますよ。一緒にどうですか？

【練習日】月曜日 【時間】10時～15時30分
【会場】岡先生宅 【対象】どなたでも
【TEL】52-4873(岡)

CIRCLE⑫ アート水引クラブ



水引結びはお釈迦様がお祈りするときに荘厳されたのが始まりと言われてます。この伝統ある水引で色紙・人形・装飾品を作ってみませんか？

【練習日】第2・第4水曜日 【時間】13時～15時
【会場】東脊振公民館 【対象】どなたでも
【TEL】52-1963(宮地)

CIRCLE⑬ 銀粘土細工「遊」クラブ



銀の粘土で好きな形を作り、窯で5分焼くだけで純銀の指輪やネックレスが簡単に作れます。一緒に手作りの楽しさを味わってみませんか？

【練習日】月～金曜日(回数自由) 【時間】3時間
【会場】深堀宗子宅 【TEL】53-2369(深堀)
【対象】どなたでも(細かい作業が出来る人)

CIRCLE⑭ 絲孝会(邦楽)



幼少の頃習った記憶を思い出しながら、仲良く和気あいあいと稽古しています。週に一度の稽古日が楽しみです。

【練習日】水曜日 【時間】9時～11時
【会場】先生宅(みやき町) 【TEL】53-3538(山崎)

CIRCLE⑮ 日本吟道真衛会三田川支部



心身の健康をモットーに和気あいあいの中、日本の精神文化を育んできた吟道で、腹の底から声を出しましょう。気楽な気持ちで参加しませんか？

【練習日】第1・第2・第4木曜日 【時間】20時～22時
【会場】天鼓 【対象】どなたでも
【TEL】53-0177(向井)

CIRCLE⑯ 筑扇吟詠会



吟詠は、日本古来の伝統的芸術文化であり、精神の育成と心身の鍛錬を目標に楽しんでいます。気楽に参加しませんか？

【練習日】土曜日 【時間】14時～16時
【会場】中央公民館 【対象】どなたでも
【TEL】52-4829(湯淺)

CIRCLE⑰ 吟詠横田支部



吟詠は深い感動を与えてくれるだけでなく、健康増進にも役立つ素晴らしいものです。また、礼と節を重んじる人づくりの道としても大切です。

【練習日】火曜日 【時間】20時～22時 【会場】横田公民館
【対象】どなたでも
【TEL】52-1103(小林)

CIRCLE⑱ 日本吟道真衛会東脊振支部



心身の健康をモットーに和気あいあいの中、日本の精神文化を育んできた吟道で、腹の底から声を出しましょう。気楽な気持ちで参加しませんか？

【練習日】第1・第3月曜日 【時間】20時～22時
【会場】東脊振公民館 【対象】どなたでも
【TEL】52-6085(筒井)

CIRCLE⑲ 和紙ちぎり絵



色とりどりの手漉き和紙を指先でちぎり、糊で貼って制作しています。優しさを感じる癒しのちぎり絵を始めてみませんか？

【練習日】第3水曜日 【時間】13時～16時
【会場】丸野美代子宅 【対象】どなたでも
【TEL】53-3537(丸野)

芸達者みんな集まれ

CIRCLE⑥ フラワーリーフ



季節の花やプリザーブドフラワーを使って、ブーケ作りやフラワーアレンジを楽しんでいます。ぜひ一緒にいかがですか？

【練習日】火曜日 【時間】11時～14時
【会場】中央公民館 【対象】どなたでも
【TEL】53-3278(中島)

CIRCLE⑦ いけ花池坊



草花に触れ、心に潤い・癒しの「時」をもちましよう。
【練習日】火曜日
【時間】17時～20時30分、30分～1時間程度
【会場】松屋
【対象】どなたでも
【TEL】52-2607(迎)

CIRCLE⑧ 花の会



「花の会」は菊づくりのサークルです。5月上旬、菊の差芽から11月の開花まで菊づくりに励んでいます。毎年11月の菊花展には、1年間の集大成の作品を三田川武道館前で展示しています。皆さんも菊づくりに挑戦してみたいいかがですか？
【TEL】53-2228(八谷)

CIRCLE⑨ 菊花会



菊作りを手がけて20数年の歳月が流れましたが、毎年奥の深さを痛感しています。皆さんも菊作りに挑戦してみませんか？

【練習日】必要な時期に年5～6回
【会場】東脊振公民館・会員自宅など
【対象】どなたでも 【TEL】52-1103(小林)

CIRCLE⑩ エビネ愛好会



日本の野生の蘭、エビネをご存知ですか？花の美しさや変異には限りがありません。皆さんもぜひエビネの魅力にとりつかれてみませんか？

【TEL】52-1277(古川)

吉野ヶ里町文化サークル紹介 3

CIRCLE① 若菜川柳会



人間大好き仲間が5・7・5と指折り数えながら楽しんでいます。気軽にのぞいてみてください。

【練習日】第2火曜日
【時間】13時30分～15時30分 【会場】中央公民館
【対象】どなたでも 【TEL】53-0177(向井)

CIRCLE② 三田川俳句会



皆さん、俳句を作ってみませんか？その気になれば誰でもできます。気楽な気持ちで、一度句会に参加してみませんか？皆で待っています。

【練習日】第2木曜日
【時間】13時～16時 【会場】中央公民館
【対象】どなたでも 【TEL】52-3179(伊東)

CIRCLE③ 山茶花俳句会



5・7・5のリズムは、なじみのある調子で、口ずさみながら言葉遊びをしています。俳句は17文字の短い詩文ですから、難しく考えることはありません。

【練習日】第3月曜日 【時間】13時30分～15時
【会場】東脊振公民館 【対象】どなたでも
【TEL】52-1865(井上)

CIRCLE④ わかば川柳会



5・7・5で楽しい時間を過ごしています。
【練習日】第2月曜日
【時間】19時～22時
【会場】真島清弘宅
【対象】どなたでも
【TEL】52-1061(真島)

CIRCLE⑤ 大正琴東脊振たんぽぽの会



趣味を活かし健康管理にもつながる大正琴。心を和やかにしてくれる琴の音を、皆さんも一緒に学んでみませんか？

【練習日】週2回 【時間】20時～22時
【会場】東脊振公民館 【対象】どなたでも
【TEL】53-6145(吉田)

お知らせ

Information

国民年金

繰上支給と繰下支給

【Q】老齢基礎年金は65歳前や65歳後からでも受けられますか？

【A】老齢基礎年金は、原則として65歳から受けられますが、希望により、65歳未満から受給する「繰上支給」と、66歳以降から受給する「繰下支給」があります。

●繰上支給

●年金を受ける年齢によって、一定の割合で年金額が減額され、65歳以降も減額された年金を受けることになります。

●遺族厚生(共済)年金を受給できる人は、65歳まではどちらか一方、65歳から両方が支給されます。

●繰上請求した後、障害基礎年金は請求できません。

●寡婦年金は受給できなくなります。

●特別支給の老齢厚生(退職共済)年金(厚生年金や共済組合に加入した期間のある人に支給される)は、65歳になるまで全部または一部の支給が停止され、65歳から両方が支給されます。

●繰下支給 年金を受ける年齢によって、一定の割合で年金額が増額されます。

●問い合わせ 三田川庁舎内住民課年金係 TEL 53-1111

介護保険

障害・遺族年金の受給者も介護保険料を年金天引き

10月から障害年金、遺族年金受給者の介護保険料が、特別徴収(年金天引き)になります。偶数月に支払われる年金から、2か月相当分の介護保険料が差し引かれます。

ただし、老齢福祉年金、寡婦年金、恩給などについては、天引きの対象にはなりません。

●問い合わせ 佐賀中部広域連合業務課
TEL 0120-652-114

環境

井戸水水質検査

今回は旧東脊振村が対象で、旧三田川町は12月に実施予定です。

【検査容器の配布と回収】

●容器配布日時

9月11日(月) 12日(火) 9時～11時

●配布場所

東脊振庁舎総合窓口課前ロビー

●容器回収日時

9月14日(木) 15日(金) 9時～11時

●回収場所

東脊振庁舎総合窓口課前ロビー

【検査項目と料金】

●基本10項目 4,500円

一般細菌、大腸菌など、硝酸性窒素・亜硝酸性窒素、塩素イオン、有機物など、PH、味、臭気、色度、濁度

●鉄・マンガン 各2,000円

●ヒ素・六価クロム 各3,000円

* 料金は、容器回収時に徴収します。

●問い合わせ

三田川庁舎内環境課 TEL 53-1111

ペットは正しく飼いましょう

最近、犬猫についての苦情が多く寄せられています。①放し飼いにしている②フンが落ちている③捨て犬や猫④鳴き声がうるさいなど。飼い主は、動物の習性などをよく理解して、周りの人に迷惑をかけないように心がけましょう。また、散歩中にしたフンは、飼い主が責任を持って処理してください。

●問い合わせ

三田川庁舎内環境課 TEL 53-1111

相談

行政・人権相談

【ふれあい館】

●日時 9月5日(火) 13時30分～16時

●相談員

内川國男(行政相談委員)

山田澄雄(人権相談委員)

【農村環境改善センター】

●日時

10月5日(木) 9時30分～12時

●相談員

川原茂人(行政相談委員)

宮地洋、西牟田政次(人権相談委員)

●問い合わせ

三田川庁舎内総務課 TEL 53-1111

わが家の安全相談・診断

住まいは人の生命・健康に大きく関わっています。安全住まいづくりサポーターは、県と県民協働で住まいの安全について、相談や目視による診断活動を始めました。また、バリアフリー・増改築・新築の相談にも対応します。

●問い合わせ

県建築士会 TEL 26-2198

募集

楽しい子育て講座

●期日 9月12日(火) 26日(火) 10月10日(火) 24日(火) 11月7日(火) 21日(火) 計6回

●時間 10時～11時30分

●場所 東脊振幼稚園大ホール

●対象 0歳～3歳未満の子どもと保護者

●内容 絵本読み聞かせ・リズムダンス・ふれあいゲームなど

●申込締切 9月8日(金)

●申込・問い合わせ 三田川庁舎内社会教育課 TEL 53-1111

パッチワーク教室

●日時 9月28日(木) 10月5日(木) 10時～12時

●場所 東脊振公民館第2会議室

●講師 斉藤八穂子先生

●定員 20人(先着順)

●持参するもの 裁縫道具

●教材費 1,500円(2回分)

* 申込時に徴収します。

●申込期間

9月4日(月)～15日(金)

●申込・問い合わせ

東脊振公民館 TEL 52-3499

祝長寿

第二回

吉野ヶ里町敬老会

佐賀に〇か



【吉野ヶ里炎祭り劇団】

地元吉野ヶ里町の市民劇団で、旧三田川町の敬老会や炎祭りにも出演。素人とは思えぬお笑いセンスと佐賀弁で、大笑いすること間違いなし。笑い過ぎに注意してください。

歌と踊り

【高千穂ひろみ&満明】



歌と踊りの母子(おやこ)ステージ。ひろみの歌に満明の「女形」「立ち役」の舞が華を添えます。

腹話術 マザック

【大空港(おおぞらみなと)】



手品と腹話術で10秒に1度の爆笑、爆笑、大爆笑。

平成18年 9月17日(日)

三田川健康福祉センター(ふれあい館)大広間

受付 午前10時から *金婚者の受付は午前9時から

開式 午前11時から

【敬老会対象者】昭和6年4月1日以前生まれの人

【問い合わせ】吉野ヶ里町役場福祉課(東脊振庁舎) TEL 52-5111

送迎 東脊振健康福祉センター(きらら館)から敬老会会場まで送迎バスを運行します。

*送迎バスの運行は、午前9時から開始します。

短歌

夏雲は東の空に立ちのぼり
耳納連山ちひさく見する
立野 土井 敏明

草原に苦しみの思ひきり
はく時われの幸感ぞ吹く
吉田 徳安テル子

蒸し暑きひと日暮れゆく川ぞひの
畑辺にしばし夫と憩いぬ
諫里 中島 惇子

庭を舞う黄色い蝶ちよあでやかに
暑い日中をもとせすに
諫里 伊東 米子

進る汗を拭きつつ手入れする
大豆畑のみどり濃くなり
伊保戸 中島 君子

ブレーキの跡黒々と国道の
広きを占めて車横転す
横田 宮地カヨ子

加速度に進みゆく世に老いふたり
夫は一生戦地を語るらむ
新宮田 中山 妙子

高一の吹奏楽部はBパート
初の金賞歓声あがる
目達原 平 慶久

句日を臥して跳むる病窓に
トンボは高く自由に飛べり
目達原 中村 悦子

過ぎし日に白蓮住みし伊東邸
御殿に想いめぐらす
上中杖上 渡邊登志子

高齢をほこらしきことと胸はりて
生きしこの身の自信碎かる
上中杖上 生島 愛子

俳句

盆が来た亡夫と亡母との出会いにて
ほほつり笑まふ灯火ゆれをり
鳥ノ隈 福岡 ミワ

晩涼や問はず語りの恋さんげ
かつて無き酷暑に耐えて老いを生く
講師 江崎 渉

胸当ても新に観音夏祭り
百余年粉掲ぐ水車雲の峰
上中杖上 生島 愛子

語りつく曾孫に今年終戦日
老鶯に立ち去り難き句碑の寺
萩原 桑原 亮

嬉野の熱き湯もよし夕螢
幸不幸に尺度は在らず草矢打つ
目達原 富永しづ子

夏はての迷路さまよふ昼の夢
風鈴に風のすぐ来る通し十間
力田 中島 久子

白南風の沖より晴るる島泊り
便り無きは無事の証や日の燃える
田手 花田貴光絵

妹の癒ゆる日近し夏椿
荒梅雨の外灯を切る雨の脚
鳥ノ隈 田中千津子

湧き立ちて朝のしじまを蟬しぐれ
梅雨雲を脱ぎ端然と薩摩富士
永田ヶ里 井上 春枝

上石動 大坪カツヨ

上石動 西牟田紀美子

川柳

新茶飲む香りがよくて味もよし
レジ係白魚みたい指踊る
古川千代子

梅雨空にうんざりすれど背を伸ばし
愛してるそんな言葉は極楽で
上瀧 初代

テポドンにおびえる列島弓なりに
七夕や八十路むかえて見る夜空
大隈トミ子

ほとほとと朝の豆腐の香りする
蝉達の遠慮のなさに暑さ増す
大隈 操

雨あがりどこへ行くのか雨蛙
にんにくの匂いが好きとおばあさん
荒木 靖子

夏の空みどりの香り一人占め
遠い日の思い出七里ヶ浜歩く
飛松 敬子

飛行機も電波も過去には届かない
花植えて心の隙間埋めていく
江頭 要子

日傘くるり初恋の人いまいづこ
母の日傘あこがれていた幼い日
松尾 久枝

遠回り気になる人に会いたくて
橋本かおり

暑気様だまされるのもまた楽し
ひまわりは色あざやかな夏の顔
山下麻の葉

大波をかぶり再び立ち上がる
「オーイ」と呼ばれ
江口カズヨ

忘れ物記憶ゆっくり追いかける
ドキドキで検診結果まつている
井上千代子

図書館ということにして開基を打つ
クールビズノーネクタイの事かいな
向井 初子

出番です入道雲がしゃしゃり出る
営業マン泣かせて夏の白い空
大塚みよ子

虹の脚つかみ損ねた父帰る
淋しさが私を見る生きなぐちや
小野 正樹

真つ青な空を泳いでいる一人
ピッチャーで四番を待っている試練
園田 示右

ナスもトマトも私も旬でかしこまり
フルムーン妻と駅弁食べる旅
城野 浩二

真島 清弘

募集

町防衛協会会員の募集

自衛隊に対する支援・協力などにより、地域社会の平和と発展に寄与することなどを目的に、旧三田川町防衛協会と旧東脊振村防衛協会を合併し、吉野ヶ里町防衛協会を設立、18年度会員を募集しています。

●会費 1人500円

●加入申込期限 9月29日（金）

* 申込の際、会費を納めてください。

* 団体加入の場合、会費に名簿を添付してください。

●申込・問い合わせ 町防衛協会事務局（三田川庁舎総務課内）

催し

目達原駐屯地創立記念行事

●日時 10月1日（日）
8時30分～15時30分

●場所 陸上自衛隊目達原駐屯地

●主な内容 音楽演奏、ジープなどの体験試乗、対戦車ヘリコプターシミュレーター体験搭乗など。

【ヘリコプター体験搭乗】

●日時 10月1日（日）
13時～15時（1回20分程度）

●場所 陸上自衛隊目達原駐屯地

●対象 中学生以上で、過去に搭乗経験がない人。

●申込方法 往復葉書に郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、「体験搭乗希望」と明記し、申し込んでください。葉書1枚につき1人有効です。

* 連名・普通葉書での応募は無効。

●申込締切 9月11日（月）必着。

●申込・問い合わせ 〒842-0032 吉野ヶ里町立野7
陸上自衛隊目達原駐屯地広報室
TEL 52-2161

サガン鳥栖を応援しよう

県プロサッカー振興協議会では、9月13日に鳥栖スタジアムで行われ

その他

事業所・企業統計調査

全国すべての事業所や企業が調査の対象です。調査員が調査票をもって皆さんの事業所を訪問しますので、協力をお願いします。

●訪問時期 9月下旬から

* 調査員は必ず調査員証を携行します。

●問い合わせ 三田川庁舎内企画課 TEL 53-1111

寄附御礼

●老人クラブへ

●巽 直義様（吉野ヶ里） 故 野中タケヨ様

●西津 正喜様（吉 田）故タエ様

●八谷ミネ子様（下 藤）故菊次様

●馬場 益枝様（下豆田）故 保様

●向井 信美様（箱川上分） 故 ミキヨ様

消費生活情報 平成17年度相談件数

平成17年度、県に寄せられた消費生活相談件数は11567件、うち、吉野ヶ里町分は193件でした。順位と内容は次のとおりです。

順位	商品名	件数	販売・勧誘方法・内容
1	商品一般	37	葉書や封書による不当請求・架空請求
2	フリーローン・サラ金	28	多重債務・ヤミ金
3	電話情報提供サービス	23	携帯電話への不当請求・架空請求
4	電話関連サービス	7	マイラインの変更（訪問販売による契約）
5	賃貸アパート・借家	5	退去時の敷金返還トラブル
6	アクセサリ類	4	指輪ネックレス（アポイントメント商法による契約）
6	婦人下着	4	下着（訪問販売・マルチ商法による契約）

8位以下は、住宅リフォーム、布団、新聞、浄水器、住宅ローン、資格取得教材などでした。また、役場両庁舎で受け付けた相談件数は38件。相談内容は、葉書や携帯電話での不当・架空請求が最も多く、続いてヤミ金と多重債務。ほかには、訪問販売での下着や健康食品の購入などがありました。

県全体の相談件数は昨年に比べ、架空請求・不当請求に関する相談が減少したことにより減っているものの、70歳以上の相談件数が20%増加。新聞、布団、健康食品などの訪問販売に関する相談が多くなっています。トラブルにあった時は早めに相談してください。

9月の消費生活相談日と場所

役場では、専門の消費生活相談員が、次の日程で相談を受け付け、秘密は厳守します。

●9月 7日（木）、21日（木）10:00～16:00 三田川庁舎

●9月14日（木）、28日（木）10:00～16:00 東脊振庁舎

●問い合わせ 東脊振庁舎内商工観光課 TEL52-5111

9月のカレンダー

日(曜)	行 事 名	旧東脊振村内のゴミ出し日	旧三田川町内のゴミ出し日
1 金		【燃】2区	【燃】A・B区
2 土	図書室開放 9:00～13:00中央公民館・農村環境改善センター 第2回ふるさと探訪「小川内を訪ねて」8:00～・13:30～		
3 日	消防団夏季訓練 8:00～東脊振小・中学校グラウンド リサイクルセンター開放日8:30～17:00		
4 月	健康相談【詳】 母子手帳交付【詳】 温水プール休館日	【燃】1区【牛】2区【空】1区	【燃】A区
5 火	行政・人権相談【詳】 乳児健診【詳】 BCG予防接種【詳】	【燃】2区	【燃】B区
6 水			【燃】A区
7 木	消費者生活相談【詳】 住民健診結果説明会【詳】	【燃】1区	【牛】3区【空】1・2区
8 金	住民健診結果説明会【詳】	【燃】2区【粗】2区	【燃】A・B区
9 土	図書室開放 9:00～13:00中央公民館・農村環境改善センター 住民健診結果説明会【詳】		
10 日	住民健診結果説明会【詳】		
11 月	住民健診結果説明会【詳】	【燃】1区【牛】1区【空】2区	【燃】A区【粗】3区
12 火	住民健診結果説明会【詳】	【燃】2区	【燃】B区
13 水	サガン鳥栖対愛媛FC町民招待【詳】 乳児健診【詳】 住民健診結果説明会【詳】		【燃】A区
14 木	消費者生活相談【詳】 住民健診結果説明会【詳】	【燃】1区	【牛】1・2区【空】3区
15 金	住民健診結果説明会【詳】	【燃】2区	【燃】A・B区
16 土	図書室開放 9:00～13:00中央公民館・農村環境改善センター 住民健診結果説明会【詳】		
17 日	敬老会【詳】		
18 月	住民健診結果説明会【詳】	【燃】1区【新】2区【空】1区	【燃】A区
19 火	住民健診結果説明会【詳】 温水プール休館日	【燃】2区	【燃】B区
20 水	2歳6か月児相談【詳】		【燃】A区
21 木	消費者生活相談【詳】 親子教室【詳】 秋の交通安全県民運動～30日	【燃】1区	【新】3区【空】1・2区
22 金	母親学級①【詳】	【燃】2区	【燃】A・B区
23 土	図書室開放 9:00～13:00中央公民館・農村環境改善センター		
24 日			
25 月	親子教室【詳】 健康相談【詳】 母子手帳交付【詳】 温水プール休館日	【燃】1区【新】1区 【空】2区	【燃】A区
26 火	2か月児健康相談【詳】	【燃】2区	【燃】B区
27 水			【燃】A区
28 木	消費者生活相談【詳】	【燃】1区	【新】1・2区【空】3区
29 金	3歳6か月児相談【詳】	【燃】2区	【燃】A・B区
30 土	図書室開放 9:00～13:00中央公民館・農村環境改善センター		

●カレンダー中の表示

【燃】燃えるゴミ 【牛】牛乳パック、白色トレイ、ペットボトル 【新】新聞広告、雑誌類、ダンボール 【空】空缶、空ビン、有害ゴミ、燃えないゴミ 【粗】粗大ゴミ 【東脊振1区】在川、大曲、松葉、横田、永田ヶ里、大塚ヶ里、辛上、中の原団地 【東脊振2区】小川内、永山、坂本、松隈、上石動、下石動、西石動、上三津東、上三津西、下三津西、三津住宅、白萩寮、下三津東、大曲アパート、川原団地、防衛庁官舎、若葉台 【燃えるゴミ三田川1区】新宮田、目達原、上中杖上分、苔野、吉田、萩原、鳥ノ隈、田手村、田手宿、立野 【燃えるゴミ三田川8区】吉野ヶ里、力田、衣村、伊保戸、菅根、上中杖、下中杖、上豆田、下豆田、箱川上分、箱川下分、乙ノ馬手、下藤、田中 【三田川1区】新宮田、目達原 【三田川2区】上中杖上分、苔野、吉田、萩原、鳥ノ隈、立野 【三田川3区】吉野ヶ里、田手村、田手宿、力田、衣村、伊保戸、菅根、上中杖、下中杖、上豆田、下豆田、箱川上分、箱川下分、乙ノ馬手、下藤、田中 【詳】詳しくはお知らせページなどに掲載しています。

●平日の図書室開館時間 9:00～17:00

保健行事

●問い合わせ
保健課健康づくり1係 東脊振健康福祉センター(きらら館) TEL51-1618
健康づくり2係 三田川健康福祉センター(ふれあい館) TEL51-1965

行 事 名	日(曜)	受付時間	場 所	対 象 者	持参するもの
健康相談・母子手帳交付	毎週月曜	9:00～12:00	きらら館	一般町民・妊婦	妊娠証明書
健康相談	11(月)・18(月)を除く	13:00～16:00	ふれあい館	一般町民	

* 月曜日以外の日に母子手帳の交付を希望する人は、連絡してください。

乳児健診	5(火)	【4か月児】 13:00～13:15	きらら館	H18.5月生		母子手帳
		【7か月児】 13:15～13:30		H18.2月生		
BCG予防接種	5(火)	13:00～13:15		H18.5月生・生後6か月未満の未接種児		母子手帳・問診票
乳児健診	13(水)	13:00～13:15		H17.9月生		母子手帳
2歳6か月児相談	20(水)	13:00～13:15		H16.1・2月生		母子手帳・問診票
親子教室(ワンツー体操)	21(木)	9:50～		2歳以上の幼児		母子手帳
母親学級①	22(金)	13:00～13:15		妊婦		母子手帳
親子教室(ドレミ広場)	25(月)	9:50～		2歳未満の乳幼児		母子手帳
2か月児健康相談	26(火)	13:00～13:15		H18.7月生		母子手帳
3歳6か月児相談	29(金)	13:00～13:30	H15.1・2月生		母子手帳・問診票	
住民健診結果説明会	7(木)～19(火) 17(日)を除く	9:00～12:00	きらら館(7～11) ふれあい館(12～19)	住民健診受診者	結果引換用紙 健康手帳	

乳幼児個別予防接種

持参するもの:母子手帳・予診票

予防接種(ワクチン)の種類	対 象 年 齢
三種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン)	生後3～90か月児
麻しん・風しん混合ワクチン	生後12～24か月児
日 本 脳 炎	ワクチンの副作用のため、現在、予防接種勧奨を控えています。

* 予防接種法の改正により、麻しん・風しん混合ワクチンは4月から、
ワクチンと対象年齢が変わり、予診票も変わりました。問診票が
必要な人は、連絡してください。

●予防接種(通年接種分)委託医療機関

指定医療機関	実施曜日	実施時間
小森医院 吉野ヶ里町上豆田 TEL52-1136(要予約)	月・火・水・金 木・土	9:00～12:00 15:30～17:00 9:00～12:00
たけうち小児科医院 神崎市神崎町本廬 TEL52-2524	月・火・水・金 木・土	9:00～12:30 14:30～18:00 9:00～13:00
山田こどもクリニック 神崎市神崎町田道ヶ里 TEL55-6566	月～金 土	8:30～11:00 14:00～17:30 8:30～11:00

●予防接種(期間限定接種接種分)委託医療機関

予防接種の種類 三種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン)
実施日 9月4日(月)～8日(金) 9月25日(月)～29日(金)

指定医療機関	実施曜日	実施時間
松本医院 吉野ヶ里町下三津東 TEL52-4185	月・火・木・金	【乳幼児】 13:30～14:30
西谷クリニック 吉野ヶ里町大塚ヶ里 TEL52-3139		【乳幼児】 13:30～17:00

日曜・祝日在宅当番医

月 日		当番医療機関	
9月3日 (日)	たけうち小児科医院 神崎市神崎町本堀 TEL52-2524 【小】	橋本病院 神崎市神崎町本告牟田 TEL52-2022 【外・内】	
10日 (日)	中尾胃腸科医院 神崎市神崎町駅通り TEL52-3295 【外・整・胃・内】	ひらまつふれあいクリニック 吉野ヶ里町目達原 TEL51-1110 【内・胃】	
17日 (日)	山田こどもクリニック 神崎市神崎町田道ヶ里 TEL55-6566 【小】	南医院 神崎市千代田町直鳥 TEL44-2777 【外・胃・整】	
18日 (祝)	最所医院 吉野ヶ里町吉田 TEL52-2452 【内・胃・呼】	和田内科小児科胃腸科 神崎市神崎町神崎 TEL52-2021 【内・小・胃】	
23日 (土)	神埼病院 神崎市神崎町田道ヶ里 TEL52-3145 【外・整・胃】	神埼クリニック 神崎市神崎町1丁目 TEL53-1818 【内・胃・呼】	
24日 (日)	松本医院 吉野ヶ里町下三津東 TEL52-4185 【内・小】	和田医院 神崎市千代田町嘉納 TEL44-2046 【内・小】	
10月1日 (日)	ひらまつふれあいクリニック 吉野ヶ里町目達原 TEL51-1110 【内・胃】	中下医院 神崎市千代田町余江 TEL44-2488 【内】	
8日 (日)	ならもと内科医院 神崎市神崎町本堀 TEL52-1525 【内】	古賀内科 神崎市千代田町境原 TEL44-2311 【内・小・胃】	
9日 (月)	西谷クリニック 吉野ヶ里町大塚ヶ里 TEL52-3139 【内・小・脳】	和田記念病院 神崎市神崎町尾崎 TEL52-5521 【内・胃・小】	

【外】外科【整外】整形外科【内】内科【胃】胃腸科
【小】小児科【脳】脳神経外科【呼】呼吸器科

*診療時間は、9時～17時です。

*初回対象者には通知します。未接種の場合、対象年齢内であれば、希望により受けることができます。

*「こどもカレンダー」送付時にお知らせした実施時間から変更があるため注意してください。

●問い合わせ 保健課健康づくり1係(きらら館) TEL 51-1618
健康づくり2係(ふれあい館) TEL 51-1965

シリーズ 一期一会

vol. 4

いちごいちえ

このコーナーでは、吉野ヶ里町で元気に活躍する人々を紹介いたします。今月は、小川内出身の写真愛好家で、五ヶ山ダム建設に伴い、下三津東地区で新しい生活をスタートした大石久一さんに、カメラとの出会いや思い出、現在の暮らしに大切なことなどを聞きました。

ふるさと写真愛好家

大石久一さん

雪の降る日は、枕元にカメラを置いてスタンバイ。

子どもの頃、漫画の月刊誌の付録に「ピンボール写真」があり、これがとても面白くてカメラに興味を持ちました。高校生になってからは、家にあったカメラをいたずら半分で触っていましたね。まだ二眼レフの時代で、今のように入門書などはありませんでした。絞りやシャッタースピードなどの基本は、小中学校の恩師に尋ねることもありましたが、ほとんどは独学で学びました。



県展での入選作品（撮影場所小川内）

フィルムカメラならば、どんなふう撮れたかその場で確認できますが、フィルムカメラは現像してみないと分からない。ですから、出来上がってくるのがとても楽しみで、写真を見ながら、上達しているかどうかをチェックしていました。

年間2,000枚、これまでに15万枚は撮ったでしょうか。あらゆるジャンルの写真を撮っていますが、小川内の雪景色などが中心です。雪はチャンスを逃せば、1年待つことになるので、天気予報を確認した後、枕元にはカメラを置いて休んでいました。雪が降ったら、4時に起き、陽が高くなる前に撮る。そうすれば青味があった雪景色が撮れるのです。

ハイテクだけでは生きられない。

小川内の風景は昭和40年代、林道や脊振ダムが出来た頃から変わってきました。紅葉にしても、上から下まで色づくのに時間がかかるようになり、真っ赤に色づくことが少なくなりましたね。木々を伐採したことも影響しているのでしょうか。

7月に故郷小川内を離れ、下三津東地区に移り住みました。そうそう、母屋の風呂とは別に、五右衛門風呂も作ったんですよ。ハイテクの時代、便利な物に囲まれていると、いざという時に心配でしょ。以前、板屋（福岡市）の少年自然の家で野外指導をしていたことがあるんですが、飯ごう炊飯やロープの結び方などを知らないんです。日常必要でないことでも、知識としては知っておいてほしいですね。ハイテクだけでは生きていけないんです。

これから先撮ってみたい風景。

写真は続けたいと思っていますが、忙しい時ほど無性に撮りたくなるもので、いい写真も多い。逆に、気持ちや時間に余裕があればあるほど、どうも上手くいかない。不思議なものです。

今一番撮りたいものですか？うーん、夕焼けかな。山に囲まれた小川内には夕焼けがなかったんです。本当ですよ。だから真っ赤に染まった夕焼けをぜひ撮ってみたいですね。もちろん、故郷小川内にも出かけていくつもりです。

■大石久一さん【おおい ひさいち】
「小川内誌」（昭和60年発行）の編集委員。写真愛好家でつくる「写真クラブ」会員として、旧東脊振村文化祭などにも数多くの作品を出品。下三津東在住。63歳。



居間の壁一面に貼られた滝の写真。故郷小川内の様子を思い出させる。